

## 寅年を迎えて



新年を迎えました。ご家族そろってお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

新しい1年の始まり。新たな気持ちで、学校園ともスタートしました。

今年の干支は、「寅」。小学校の始業式では、次のようなことを話しました。

新年明けましておめでとうございます。

2022年、令和4年がスタートしました。今日は、みんなが集まり、みんなの元気な顔が見られました。3学期最初の「ありがとう」です。今日から1年生に新しい友達も迎え、校長先生は、とっとうれしいです。「ありがとう」の日です。

さあ、新しい年を迎えました。その年を表すとき、干支でいうときがあります。子、牛、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥 と動物で表して、今年は「寅年」になりますね。

この寅年にあたる人は、全員じゃないけど6年生の人と5年生の人ですね。

この十二支は、動物に例えるだけでなく、生命の消長循環といって草木の成長の様子を表す考えもあります。種から芽が出て花や実になり、枯れて種になり、また土に戻ってというグルグル回る様子を表します。

寅の順番は、子、牛、寅、と3番目。「寅」の字に「水」が加わると、さんずいへんを付けて「演」という漢字になります。「演」は、行う、動くという意味になります。

草木の成長の3番目は、芽が出て草木が伸び始める時期を表します。今まで土の中にあって見えなかったのが、外に出て伸びていく年、それが「寅年」です。そんな素晴らしい年です。

さあ、あなたたちは、新年を迎えてどんな目標を立てましたか。こんな目標を立ててみんなからどう思われるだろうかとか、目標を立てても守れなかったら笑われたり怒られたりしないかなとか、カッコいい目標にならないかなあとか、いろいろと悩んでいて土の中から出てこない。考えてばかりいると、いつまでも見えてきませんよ。

こういう言葉があります。「手考足思（しゅこうそくし）」。手を動かして考えて自分の足で歩きながら思いをめぐらす。まずは、行動することです。心は行動のあとについてきます。自分の目標は、自分のもの。人と比べず、まずは、やってみることです。土の中から出て、伸びていきましょう。

「寅年」は「動」の年。

今年1年、自分から行動しましょう。結果はあとから付いてきます。

今日からスタート！がんばりましょう！！

行動なくして、道は開けません。子どもたちも私たち職員も、前へ前へと進んでいきたいと思えます。ご支援をよろしくお願いいたします。



月行事予定

7日(金) 小学校始業式 校外児童会	19日(水) 2年発表集会
11日(火) 幼稚園始業式 給食開始 10じつの日	26日(水) 3・4年スーパー連携 ※オンライン授業
12日(水) 1.17集会	27日(木) ブックフレンド 1・2・5・6年スーパー連携 ※オンライン授業
13日(木) ブックフレンド 金管バンド練習開始(3～5年生) ※3年生は木曜のみ PTAスキー教室指導者打合せ	28日(金) オープンスクール 人権参観日(小学校のみ)

2月以降の主な行事予定

<p>&lt;2月&gt;</p> <p>4日(金) スキー教室</p> <p>16日(水) 入学説明会</p> <p>18日(金) 入園説明会 学校再編に関する懇談会 19:30～ ※後日、詳細につきましては教育委員会よりお知らせがあります</p> <p>22日(火) 幼稚園保育参観日</p>	<p>&lt;3月&gt;</p> <p>9日(水) 個別懇談会(希望者)</p> <p>22日(火) 卒業式</p> <p>23日(水) 卒園式</p> <p>24日(木) 修了式</p> <p>※現時点での予定です。変更の際は連絡します</p>
--	--

あるがままに ～「自然服従」という考え～

精神科医の森田正馬さんの15の提言を記された本と出会い、考えさせられた言葉です。「服従」という言葉には、嫌な響きを抱きますが、彼の根底は「あるがまま」の肯定にあります。日本は4つの季節があり、折々の過ごし方があります。一方、砂漠が生活の基盤となっている人は、酷熱・水不足等における想像を絶する不便さの中で生きています。そこで生まれた子どもは、生まれた自然と環境を呪う術を知りません。精一杯生きるのです。環境と境遇をひとまずは受け入れ、その中でもてる限りの力を集中し、創意工夫する。一足飛びに環境と境遇を毛嫌いして逃げ出すのではなく、これが当座の自分の天地だと心決めて全力で生きていくことが、「自然服従」という考えです。過酷でつらくても、そこが人生の教室となります。生活に向き合い、技術、知識、知恵を学ばせてくれる教室です。忍耐と我慢、教を導いてくれる人と出会うありがたさ、人の優しさを学ぶこともできます。何のつらさもない境遇は学ぶ機会を与えてくれません。令和4年を迎えましたが、変異株による新型コロナウイルスの不安が募りつつあります。しかし、現況は、現況として受け入れ、まずは、行動。まっすぐ前を見て一步一步踏みしめて子どもたちとともに歩んでいきたいと思いません。本年もご協力・ご支援よろしくお願ひいたします。

(文責 中田 斉)